

使う、親しむ、身に付く英語の指導法

－実践的コミュニケーション能力を伸ばす reading の指導法－

県立登美ヶ丘高等学校 教諭 泉 博

Hiroshi Izumi

要 旨

学習指導要領では、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成が強く求められている。そこで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることにつながるリーディングの活動について研究し、生徒自ら取り組む繰り返し読みや音読活動を行うことにより、効果的に文章の大意を把握するための指導法を実践した。

キーワード： 実践的コミュニケーション能力、繰り返し読み、音読、速読

1 はじめに

国際化の進展に対応し、高等学校では四つの領域の有機的な関連を図った言語活動を展開する中で、「実践的コミュニケーション能力」を育成することが大切になっている。これまでの私の授業は訳読や文法事項の説明を中心とした教員主導型の指導であったために、生徒が自ら大意を把握し、また読んだことを活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成するには十分でなかったと考える。

そこで、黙読や音読を繰り返し行うことで効果的に文章の大意を把握し、また文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるような音読の力を付けたいと考えた。そして生徒が自ら読む目的を考え、主体的に読み方を選択し、そこから内容を理解したことを他の人々に伝えるという意欲・態度を生徒に身に付けさせるようにしていきたい。

2 研究目的

繰り返し読みと効果的な音読をさせることで、特に「読むこと」の領域における、生徒の実践的コミュニケーション能力を伸ばす指導法を研究する。

3 研究方法

- (1) これまでの授業の問題点の分析
- (2) 繰り返し読みや音読指導にかかわる先行文献や実践事例の調査・研究
- (3) 置籍校の生徒の実態に合った指導法や評価方法の研究
- (4) 研究授業の実施、分析、課題
- (5) 研究のまとめ

4 研究内容

- (1) 学習指導要領におけるリーディングの記述

学習指導要領における「リーディング」の目標は2つの要素から成り立っている。それは、①「英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすこと。」と、②「この能力を活用し

て積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。」である。

(2) これまでの授業の問題点の分析

- (現状)
- ・ 最初から細かい文法説明や訳読に時間をかけている。
 - ・ 最初から意味の分からない語句を全て辞書で調べさせている。
 - ・ 繰り返し黙読や音読をさせるための工夫が十分ではない。

このように訳読やこまかい文法事項の定着を目的にして、生徒に自ら考えさせることをせず、教員主導型の指導を行っていた。そのため生徒が自ら文章の大意を把握し、また読んだことを活用して他の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てることが十分ではなかったと言える。そこで生徒が自ら考え、能動的な活動を通して効果的な読み取りをさせることができるような指導法の工夫が必要だと考えた。

(3) 繰り返し読みと音読についての指導方法の研究

ア 繰り返し読みの指導について

「繰り返し読み」とは同じテキストを2回以上読むことである。「繰り返し読み」の目的は読み手の単語認知の自動化を促進することによって、読む速さ・読む正確さを高め、読解力を向上させることにある。

Rate buildup reading. Students are given 60 sec to read as much material as they can. They then begin reading again from the beginning of the text and are given an additional 60 sec. They are to read more material during the second period than in the first. The drill is repeated a third and a fourth time. The purpose of this activity is to reread "old" material quickly, gliding into the new. As the eyes move quickly over the "old" material, the students actually learn how to get their eyes moving at faster reading rate. The exercise involves more than simply moving the eyes quickly; the material should be processed and comprehended. As students participate in this rate building activity, they learn to increasing reading rate.

(Neil J. Anderson, Developing Active Readers Pergamon)

イ 音読の指導について

前述した学習指導要領の「リーディング」の目標のうち、①については繰り返し読みによって指導を行うことができる。そして②については音読がその役割を果たすことができると考える。

また学習指導要領の内容の(1)言語活動のエの項目に「文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読する。」とある。このような音読をさせるためには句を意識し、またイントネーションや強勢などに注意して感情を込めて読むなどの工夫が大切であることを指導をする必要がある。このような指導が生徒の「関心・意欲・態度」を高めると考える。

(4) 研究授業と仮説の検証

ア 本時のねらいと授業の流れ

研究授業の指導単元のねらいを「パラグラフごとの大意を正確に把握していくことによって、長文を制限時間内に解釈していく力を身に付けること」とし、また本時のねらいを「黙読、音読を繰り返し、またキーワードを見付けることによって、自らパラグラフの要旨を把握すること」とした。そして本時の授業を大きく3つの部分で構成した。① Reading silently ② Grasping the story ③ Reading

aloud である。

① Reading silently

まず本時の目的を生徒に説明をした上で、制限時間を設定して本文を黙読をさせた。そして2回目の黙読をする前に新出単語の意味を確認し発音練習をした。2回目の黙読の際には句ごとにスラッシュを入れながら読むように指示をした。さらに内容をスムーズに把握させるための、クエスションをあらかじめ与えて、黙読をするように指示をした。3回黙読をさせた後にクエスションの答えを記入させた。

② Grasping the story

問題の中に、文章から単語の意味を類推させる設問を加えた。まだ学習していない単語に出会ったとき、すぐに辞書に頼るのではなく、その意味を文脈から推測することも大切である。ここでは、本文に出てくる fossil という単語を取り上げた。この単語は本文のキーワードでもあり、この意味を推測することが本文の理解につながることを実感させたいと考えたからである。

更に内容を理解する上でのキーワードを5つ探すように指示をした。文章の全体的な流れを把握させるためには、文章の流れや論理的な構造を明らかにするための役割を果たす語句を理解することが大切だからである。それぞれのパラグラフから1～2つずつ選び全文で5つになるように指示をし、そのためにそれぞれのパラグラフについて4回目の黙読をさせた。最後に、それぞれのパラグラフのキーセンテンスを探すように指示をし、5回目の黙読をさせた。(時間の最後に各自が考えた5つのキーワードとそれらを選んだ理由を、プリントに書かせて提出をさせた。)

③ Reading aloud

句ごとのスラッシュを確認した後、コーラスリーディングを行った。1回目は句ごとに区切って文を見ながらリポートをさせ、2回目は文ごとに区切ってリポートをさせた。また、その際にそれぞれの文の中で強勢を置くべき語句を確認し、音読する際の補助となる記号を入れさせた。その後、全員を立たせ、パート3全体について各自で3回目の音読をさせた。コーラスリーディングの場合は、声の大きな生徒に頼ってしまい、小さな声でイントネーションを付けずに読む生徒がでてきてしまうが、生徒一人一人に大きな声ではっきりと音読をさせることに努めた。次にペアを組ませ、一方が句ごとに文を見ながら音読し、それを聞いた相手が同じ句を文を見ないで言う練習をさせた(4回目)。次に文単位を区切りとして同じやり方で練習をさせた(5回目)。そして最後にお互いに文全体を読み合うように指示し6回目の音読をさせた。

Teaching Plan

1. Date : 5th Period, Thursday, October 14, 2004
2. Class : 3-1, Tomigaoka High School
3. Textbook : Lesson 12: The Proving of the Hypothesis of Continental Drift
4. Allotment of This Lesson
 - 1st Period : Introduction of this lesson, Part 1
 - 2nd Period : Part 2
 - 3rd Period : Part 3 (This Period)
 - 4th Period : Part 4, Review of the whole lesson
5. Aims of this Period
 - ① To have the students find the key words by reading the sentences silently and loudly.
 - ② To have the students practice to read the sentences loudly with stress and intonation so that

their partners can understand the contents of the sentences.

6. Evaluation criteria

A Highly Satisfied	B Satisfied	C Not Satisfied
<ul style="list-style-type: none"> • He/She can understand the story exactly and find appropriate the five key words. • He/She can read each phrase without any mistakes. • He/She can read each phrase with the exact stress on the important words in order that the partner can understand the story. 	<ul style="list-style-type: none"> • He/She can understand the story and find three or four key words out of five. • He/She can read each phrase with only a few mistakes. • He/She can read each phrase actively in order that the partner can understand the story. 	<ul style="list-style-type: none"> • Encourage him/her to read sentence by sentence and give some hints. • Encourage him/her to read each phrase aloud and teach how to pronounce the words if needed.

7. Teaching Procedure

Procedure (Time)	Students' Activities	JTE's Activities and <i>Points to pay attention to during instruction</i>	Perspectives of evaluation, criteria and attention
1. Greeting (2 min)	<ul style="list-style-type: none"> • Greet the teacher. 	<ul style="list-style-type: none"> • Greet the students. 	
2. Reading silently (7 min)	<ul style="list-style-type: none"> • Read the sentences silently three times. 1) Read the whole sentences. 2) Listen to the teacher carefully and check the pronunciation and the meaning of new words, then read the whole sentences again, trying to divide the sentences into phrases. 3) Read the comprehension questions and read the whole sentences. 	<ul style="list-style-type: none"> • Have the students read the sentences silently three times. • Pronounce the new words and have the students pronounce them. • Explain the meaning of the new words. • Have the students read the comprehension questions and read the whole sentences. 	
3. Grasping the story (15 min)	<ul style="list-style-type: none"> • Try to answer the comprehension questions. • Read each paragraph silently and try to find five key words in Part[3]. • Read each paragraph silently again and try to find key sentence of each paragraph. 	<ul style="list-style-type: none"> • Walk around to watch students and help them. • Have the students read each paragraph silently and try to find five key words in Part[3]. (Collect the students' sheets at the end of the class to check their achievement of the aims.) • Have the students read each paragraph silently again and try to find key sentences of each paragraph. 	
4. Reading aloud (15 min)	<ul style="list-style-type: none"> • Read the sentences aloud twice after JTE in chorus twice . 1) with pauses at the end of each phrase. 	<ul style="list-style-type: none"> • Have the students read the sentences aloud twice in chorus. 	

	<ul style="list-style-type: none"> 2) with pauses at the end of each sentence. • Add the marks to the words that should be stressed. • Stand up and read the sentences individually with stress. • Make pairs and practice reading aloud three times.. <ul style="list-style-type: none"> 1) one student reads each phrase and the partner repeats it without seeing it. 2) one student reads each sentence and the partner repeats it without seeing it. 3) one student reads the whole sentences so that the partner can understand the story. 	<ul style="list-style-type: none"> • Explain which words should be stressed. • Have the students stand up and read the sentences. (Check the students who don't read aloud and encourage them to do so.) • Have each pair practice reading aloud three times. 	<ul style="list-style-type: none"> • Observation (He/She can read actively)
4. Closing (6 min)	<ul style="list-style-type: none"> • Grasp the meaning by confirming the five key words of [Part 3]. 	<ul style="list-style-type: none"> • Ask several students which words they chose and the reason why they chose them. 	<ul style="list-style-type: none"> Check of the worksheets (He/She can find right key words.)

イ 繰り返し読みと音読活動の分析

本時の評価規準は「正しいキーワードを見付け内容把握ができる」と、「本文の内容が人に伝わるような音読ができる」ということであった。

内容把握については5つのキーワードとそれを選んだ理由を記入させ提出をさせたが、40名中5つとも正しく選んでいる生徒（評価A）は5名、3つから4つを正しく選んでいる生徒（評価B）は27名、1つから2つしか正しく選んでいない生徒（評価C）は8名であった。キーワードを選ぶという活動は生徒にとって初めてのことだったので、Grasping the storyの中でパラグラフごとにキーワードを選ぶヒントを与えるなどの工夫も必要であったように思う。

音読については、立たせて読ませたり、look up and readなどの方法で読ませたりすることにより、積極的に音読に取り組む生徒が多くなってきている。しかし、ペアになった相手に自分の解釈した内容が伝わる音読ができていたか、という点では生徒により状況は様々であった。内容を分かりやすく伝えるために重要なところは強く、ゆっくり読んだりする工夫をしており「おおむね満足できる」状況（B）にあったものは半数程度で、相手に伝えるのに適切な声の大きさではなかったり、ほとんどが棒読みであったりする生徒、つまり「努力を要する」状況（C）にある生徒は3割程度いた。

コーラスリーディングの際にネイティブスピーカーの音声も活用しながら、内容を伝える読み方に注意を向けさせ、その読み方をまねさせるような指導をすることで、効果的な音読活動が行えるのではないかと考える。

5 研究結果と考察

本研究授業において、黙読を繰り返すことによって本文の内容を確認し、またペアワークによって相手に内容を分かりやすく伝えるという活動を通して「リーディング」のコミュニケーション活動へのつながりということも認識させることができたと思う。

今回の反省として、コーラス・リーディングによる音声指導の際にネイティブ・スピーカを活用すれば、より自然な強勢とリズム、イントネーションを意識した練習が可能となり、ペアワークの際にもその成果を発揮させることができたのではないかと思う。ペアワークの方法にも更なる工夫が必要だろう。より大きな声ではっきりと読ませるためには、例えば、2組のペアの4人が対角上に座り、自分の相手に伝わるよう読ませたり、違う相手をパートナーにして読ませることも有効だろう。

今後の展望として、繰り返し読み、音読の活動を速読につなげていきたいと考えている。黙読を繰り返させる際に次第に制限時間を短くしていけば、速読力の向上を一層生徒に意識させることができるのではないかと思う。

評価方法に関しては、本研究授業では5つのキーワードとそれを選んだ理由を記入させたプリントのチェック、及びペアワークの際の活動の観察を通して行った。本研究の評価規準は全体の概要の把握ができていたということと、相手に自分の解釈を伝えることを意識した音読を積極的に行っているということであったが、今後は更に評価規準に声の大きさ、フレーズ、強勢・イントネーションなどの具体的な項目をつくり、それぞれの授業での重点項目を事前に生徒に伝えることも考えている。

6 まとめ

実践的コミュニケーション能力の育成につながるリーディングの指導法として、先行文献や実践事例を研究し、繰り返し読み、音読活動を取り上げて研究を進めてきた。

研究授業ではいろいろな課題も出たが、文法の説明や訳読による指導だけに頼らずに自ら大意を把握し、その解釈を相手に効果的に伝えるための活動を取り入れることによって、実践的コミュニケーション能力に結び付く「リーディング」の指導ができるのではないかという手がかかりがつかめた。

また、音読練習に対する動機付けをするためには、適切な評価方法が必要で、またモデルとなる教員がより自然な音読をするための自己研修が重要であると実感した。

今後も、生徒に実践的コミュニケーション能力を付けるという目標に向かって、音読を中心としたコミュニケーション活動の工夫について研究を続けていきたい。

参考・引用文献

- | | | | |
|----------------------|---------------------------|----------|------|
| (1) 文部科学省 | 高等学校学習指導要領 解説 外国語編 | 開隆堂出版 | 平11 |
| (2) Neil J. Anderson | Developing Active Readers | Pergamon | 1994 |
| (3) 門田修平、野呂忠司 | リーディングの認知メカニズム | くろしお出版 | 2001 |
| (4) 土屋澄男 | 英語コミュニケーションの基礎を作る音読指導 | 研究社 | 2004 |